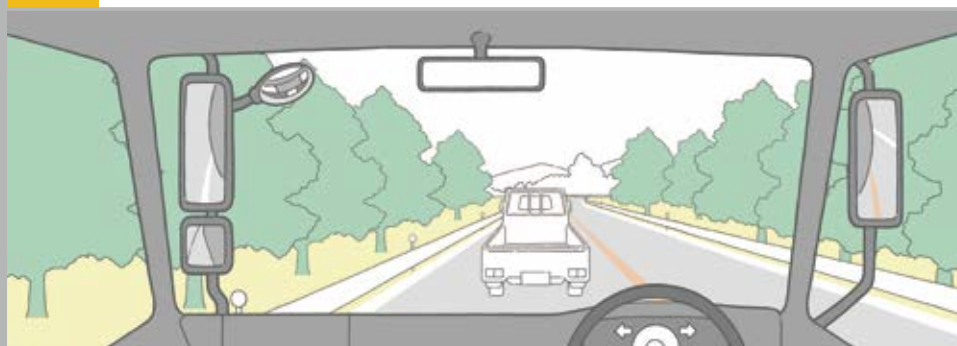


K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！
**イライラからくる
「あおり運転」の危険**

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や
危険を避けるための運転について考えてみましょう。
T

Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



交通
状況

- お客さまからの急な依頼で、片側1車線の交通量の少ない山あいの道路を集荷に向かっています。
- 前方に制限速度をやや下回る速度で軽トラックが走っています。
- 中央線をはみ出して追い越すことは禁止されています。

A

このような危険が！

- ✓ 前方の遅い車に対してイライラし、車間距離を詰めるような「あおり運転」は、前車に追突して重大な交通事故につながる危険があります。
- ✓ 無理な追い越しは、反対車線から対向車が来ている場合には正面衝突の危険もあります。
- ✓ 進路を譲ってもらうためにホーンを鳴らしたり、パッシングをしたりすると注意が前車だけに集中し、とっさの状況に冷静な判断ができなくなる場合があります。



このような運転を！

- ✓ どのような時でも気持ちを落ち着け、しっかり車間距離をとりましょう。
- ✓ 自分の感情をコントロールしましょう。例えば「私は会社の看板を背負っている」、「前車の運転手は悪気があるわけではない」、「こんなことで事故を起こしたらバカらしい」と言い聞かせましょう。
- ✓ イライラしている感情を客観的にみて、会社でのグループディスカッションや自分の心と行動をコントロールできるようにするプログラムを検討してみてください。

Q 感情コントロール教育プログラム 参考：(公財)国際交通安全学会「感情コントロール教育プログラム」

「あおり運転」厳罰化

「あおり運転」(妨害運転)に対する罰則の創設などを盛り込んだ、改正道路交通法が今年の夏から実施される予定です。

罰則など詳しくは

Q 道路交通法の一部を改正する法律案 あおり運転